

科目番号	59001	分類	専門科目 成育看護学	履修者	看護学研究科博士課程	学年	1	
科目名	生活支援看護学 (Fundamental Nursing Science)					1		
						配当シスター 通年		
担当者	○竹内 朋子		区 分	選択	単 位	2	時 間 数	30
授業の概要および目標					学位授与の方針との関連			
【概要】 少子超高齢社会を迎えた日本において、「治す医療」から「治し支える医療」への変換が求められている。対象者の生活・社会的背景を考慮した「治し支える医療」を実現していくための「生活支援看護学」の理論・概念・モデルの構築に向けてのスキルを習得する。 【目標】 1. 「治し支える医療」の基盤となる理論・概念を理解できる 2. 「治し支える医療」を実現するうえでの今日の課題について、国際的見地から考察できる 3. 「治し支える医療」のモデル構築に必要な科学的検証スキルを習得する					○	1. 看護学の継承・発展を図るための研究能力		
					○	2. 人間の発達段階に応じた看護学に関する研究能力		
					○	3. 地域社会の保健ニーズに即した実地的研究教育能力		
					○	4. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力		
						5. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を行うことができる能力		
						6. 実践を行いながら大学院生の臨地実習を指導できる能力		
授 業 計 画								
回	内 容						担当教員	
第1回	「治し支える医療」に関する諸理論・概念						竹内	
第2回	「治し支える医療」のモデル・システム構築とその評価							
第3回	「治し支える医療」にまつわる今日的課題							
第4-15回	抄読会 ①文献抄読 ・「治し支える医療」の実践 ・「治し支える医療」のモデル・システム構築 ・「治し支える医療」にまつわる今日的課題 に関する文献 ②15分レクチャー 特定の課題について15分間でプレゼンテーションし、ディスカッションを行なう							
事前・事後学習	事前学習：必携図書等から各回の講義テーマの概要について理解しておく。 場合によっては指定の事前課題を提出する。 事後学習：講義内容を復習する。場合によっては指定のレポートを提出する。 ※単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み込むこと。							
評価の方法	抄読会への出席状況および文献抄読および15分レクチャーの内容・プレゼンテーションにより評価する。 ※フィードバックは適宜行う。							
参考図書・資料等	◎Kelly, L. D. (2011). Applying Quality Management in Healthcare: A Systems Approach. Health Administration Press. ◎Wooldridge, J. (2008). Introductory Econometrics: A Modern Approach. South-Western Pub. ・Mas-Colell, A., Whinston, M. D. (1995). Microeconomic Theory. Oxford University Press.							
備 考	基本的にゼミナール方式で行なう。 オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。							